学校番号	207

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	地理総合　世界に学び地域へつなぐ（二宮書店） 新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE2026（帝国書院） 地理総合演習ノート 2026 年度版（啓隆社）、2026 データブック（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理の学習は、地名や地域の産物などを単に覚えたりすることではなく、地表上で生じている様々な現象に興味を持ち、「なぜ」そのような現象がそこで生じているのかを理解することが重要です。そのために、風景や映像を自分なりに探りながら「みる」、さまざまな資料（書物・Ｗｅｂ上の情報・統計など）や方法（たとえば、フィールドワーク）で「しらべる」ことを通じて、自然や歴史・生活文化・社会・経済などの要素を総合的にとらえて、身近な地域から世界まで発想を広げて自分自身の頭で考えることが大切です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

さまざまな、自然的・社会的事象には、どのような空間的な規則性や傾向性がみられるのかといった、地理的事象やその空間的な配置、秩序などを成り立たせている背景や要因にかかわる知識を、理解できるようになることをめざす。

【思考力、判断力、表現力等】

資料活用や課題を設定し、調べるなどのスキルを身に着け、資料から問いや課題、情報の読解、情報をまとめる力を養うとともに、地域の課題を考察し、表現できる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地域という枠組みの中で、地域の環境条件や他地域との結びつきなどと人間の営みとのかかわりについて、主体的に追及し、とらえることができる態度をはぐくむ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○地図の有用性を理解し，地図の活用に関する地理的技能を理解し，身につけている。 ○現代世界の諸事象を系統地理的に考察する方法と現代世界の諸地域を地誌的に考察する方法を理解し，身につけている。 ○現代世界に関する地理的認識や地理的な見方・考え方を理解し，身につけている。	○社会的事象の地理的見方・考え方を働かせて、地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察することができる。 ○地理的な課題を把握して、解決に向けて学習したことをもとに、複数の立場や意見を踏まえて構想することができる。	○地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとしている。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第１章　地図とＧＩＳ	１　球面上の世界 ２　世界から見た日本の位置と領域 ３　国内や国家間の結びつき ４　暮らしのなかの地図とGIS	a:様々な地図の読図をもとに、方位や時差、「日本の領土、領域」などについて理解し、地図や地理情報システムから得た情報を読み取り、まとめることができる b:地図や地理情報システムについて、「日本の領土、領域」や範囲、縮尺などに着目して適切な活用の仕方を多角的に考察し表現することができる。 c:地図や地理情報システムを日常生活の様々な場面で持続可能な社会づくりのために活用しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	提出ノート 振り返りシート 観察
	第２章　地理的環境の特色	１　地形と生活文化 ２　気候と生活文化 ３　農業と生活文化 ４　宗教･言語と生活文化	a:世界の人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり影響を与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 b:世界の人々の生活文化について、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的に考察し表現することができる。 c:世界の人々の生活文化について、日本との共通点や相違点に着目し、多様な習慣や価値観などを持っている人々と共存していくことの意義に気付こうとしている。	定期考査	定期考査 ビデオ視聴メモ	提出ノート 振り返りシート 観察

2学期	第3章　世界各地の生活文化	1　南アジア 2　ASEAN諸国 3　EUと周辺諸国 4　オセアニア	a:世界の人々の特色ある生活文化をもとに、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解することができる。 b:世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c:グローバル化が進む現代社会において、多様な習慣や価値観を持つ人々と共存するための新たな社会の在り方を創造していこうとしている。	定期考査	定期考査 ビデオ視聴メモ	提出ノート 振り返りシート 観察
3学期	第4章　地球的課題と国際協力	1　地球環境問題 2　資源エネルギー問題 3　人口・食料問題 4　居住・都市問題	a:地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解することができる。 b:地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現できる。 c:地球的課題の解決に向け、人々の生活を支える産業などの経済活動との調和のとれた取り組みを行おうとしている。	定期考査	定期考査 レポート	提出ノート 振り返りシート 観察

	第5章　生活圏の諸課題	1　日本の自然環境と防災 2　生活圏の諸課題と 地域調査	a:生活圏の調査をもとに、地理的な課題の解決に向けた取組みや探究する手法などについて理解することができる。 b:　生活圏の地理的な課題について、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に向けた取組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。 c:　調査を通して得られた知識や情報をまとめ、それに基づいて自らの解釈を加えて発表し、意見交換を行ったりすることで、社会参画しようとしている。	定期考査	定期考査 地域調査 レポート	観察 地域調査 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度